「長良川9.12豪雨災害リレーパネル展」

In　大垣市役所（2026/09/01～09/11）

長良川9.12豪雨災害

木曽川上流河川事務所

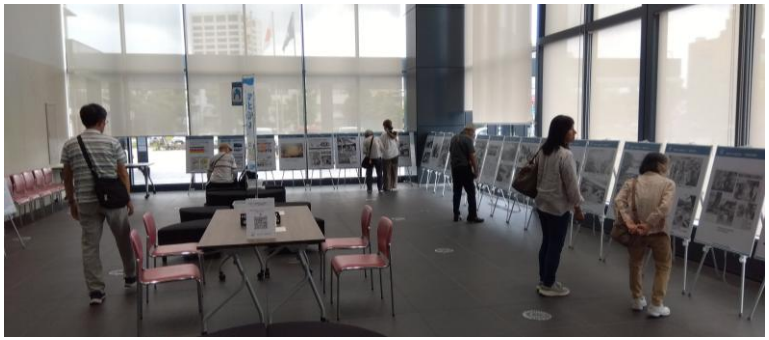
昭和51(1976)年、岐阜県安八町での堤防決壊などにより長良川沿いに広く浸水被害をもたらした「長良川9.12豪雨災害」から、今年で50年が経ちました。

自然災害が多発する今、長良川9.12豪雨災害の被害や復旧活動の写真を中心に展示することにより、その時の経験と教訓を次世代へ語り継ぎ、防災意識を高めて地域防災力の向上につなげていくため「リレーパネル展」を開催しています。



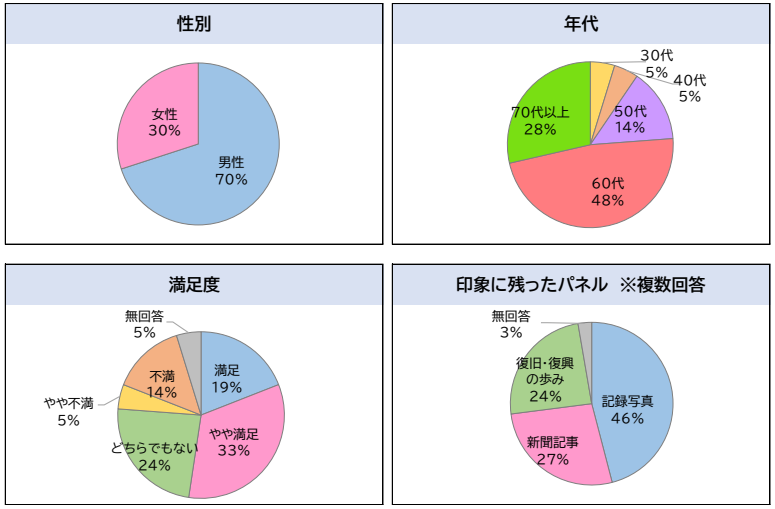
中部地方防災エキスパートによる説明





パネル展示

【パネル展に関するアンケートの結果】（回答人数:２１人）



＜アンケート結果のまとめ＞

約5割（52%）の方が「満足」または「やや満足」と回答し、多くの来場者から好評をいただきました。また、記録写真が最も印象に残った展示として挙げられ、当時の災害の状況を伝える資料への関心の高さがうかがわれました。来場者は30代から70代以上までの幅広い年代にわたり、豪雨災害の記憶や教訓を振り返る有意義な展示会となりました。

＜パネル展への主な感想＞

- 記録写真やパネル展示を通じて、安八水害の被害状況や当時の様子を具体的に知ることができた。
- 過去の災害を振り返るとともに、近年の豪雨災害も踏まえ、日頃の備えや心構えの重要性を改めて認識した。
- 数か所での開催により、安八水害を見つめ直し、防災について考える良い機会となった。今後も継続して実施してほしい。
- より多くの方へ災害の教訓を伝えるため、展示写真の充実や動画の活用、地図の追加など、展示内容や見せ方の工夫を望む声があった。